

昨今、ビッグデータ時代や IoT（Internet of Things）時代と呼ばれているように、オフィスや私生活において多種多様なデータが取得できるようになりました。本小特集ではライフログなどのログデータを活用し生活を豊かにしていくことを目的に、ログデータ活用技術に関する論文を募集致します（2019年9月号掲載）。なお、活用技術だけでなく、データ共有の仕組みやパーソナルデータのセキュリティ、プライバシーなどの周辺技術、オフィス情報システムへの応用などの論文も幅広く受け付けます。LOIS 研究会で発表頂いた研究はもちろんのこと、それ以外の研究の論文も歓迎致しますので奮って御投稿下さい。

1. 対象分野

主に以下の分野を対象としますが、以下の分野に関連する論文も幅広く受け付けます。

- ・ライフログ（ライフログ活用技術，データ解析，アプリケーションなど）
- ・オフィスモデル（業務モデル，BPR，情報共有，XML，文書構造，文書処理，ワークフローなど）
- ・コミュニケーション・共同作業を支援する技術（電子メール，グループウェア，CMS，ブログ，SNS，仮想共有環境，仮想オフィスなど）
- ・データマイニング・オフィス内の情報抽出技術（顧客情報マイニング，ナレッジマネジメント，メールマイニング，人工知能応用など）
- ・システムアーキテクチャ（Web サービス，情報システムガイドライン，SOA，WebAPI，RSS，マッシュアップ，SLA など）
- ・ネットワーク（センサネットワーク，ユビキタスネットワーク，VPN，P2P など）
- ・セキュリティ（匿名化技術，アクセス制御，マルウェア，スパム，著作権管理など）
- ・ヒューマンインタフェース（可視化，モバイルインタフェース，リッチインタフェース，Ajax など）
- ・その他オフィスアプリケーション（意思決定支援，学内情報システム，インターネット家電，IPTV など）

2. 論文の執筆と取り扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として、論文の場合は刷り上がり 8 ページ，レターの場合は刷り上がり 2 ページを標準とします。初期投稿時のレターの最大ページ数は 4 ページです。標準ページ数を超えると、掲載料が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_ess.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間（通常は 60 日）を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

Web による電子投稿のみ受け付けます。https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx より登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体（TeX/Word）、図、著者の写真、biography も投稿する必要があります。なお、登録時には必ず“Journal/Section”で [Special-OF] Log Data Usage Technology and Office Information Systems を選択して下さい。[Regular-ED] を決して選択しないで下さい。

Web による電子投稿の際，“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”に承諾して頂きます。

4. 論文投稿締切日 2018 年 11 月 1 日（木）厳守

5. 問合せ先

伊沢亮一情報通信研究機構（NICT）TEL [042] 327-6932 E-mail: isawa@nict.go.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 山元規靖（福岡工大）

幹事 伊沢亮一（NICT）、白石善明（神戸大）、福田洋治（近畿大）

委員 五十部孝典（兵庫県立大）、岡本 学（NTT）、小館亮之（津田塾大）、関 良明（東京都市大）、谷本茂明（千葉工大）、西 宏之（崇城大）、福島和英（KDDI 総研）、古本啓祐（NICT）、毛利公美（岐阜大）

7. 付記

*締切日を厳守して下さい。

*招待論文を含むすべての著者は、論文が採録となった場合、2019 年 5 月頃に掲載料をお支払い頂くこととなります。2019 年 6 月 15 日までに支払いが完了しない場合には、採録取り消しとなります。

*投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けませんこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html

*オープンアクセス化：情報・システムソサイエティ英文論文誌は、2017 年 1 月よりオープンアクセス化されました。J-STAGE (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/transinf/>) に掲載されている論文がすべて閲覧可能になります。